



# 代っ子通信

令和8年5月1日  
＜第5号＞  
校長 平塚智康

## 春の遠足 ～子どもたちの豊かな感性や情操を育む～

4月28日に、春の遠足が行われました。1年生は大堰宮（おおひのみや）公園・桔梗丘公園、2年生はあいうえおの杜、3年生は勅使法皇山、4年生は加賀温泉駅、5年生は市之瀬用水探検・山代温泉の和菓子屋探訪、とそれぞれの学年に応じた距離やコースで目的地に向かっててくてくと頑張って歩きました。とても春らしいうららかなお天気に恵まれ、外を歩いていてとても心地良かったです。お昼の休憩タイムには、友達と仲良くお弁当やおやつを頬張りながら、どの子も笑顔いっぱい、幸せいっぱいの表情を見せていました。

私は、5年生の遠足の引率をしました。5年生は、総合的な学習の時間に「米作り」をテーマに学習を進めていきます。そこで、今回の遠足では、米作りに関連した地域の施設やお店を探検します。まず、米作りにとって欠かせない水を供給する市之瀬用水についてのフィールドワークです。全長8kmの市之瀬用水の三分の一くらいのルートをたどり（地区会館横から上野町あたりまで）、その歴史や水の供給のしくみ、用水を切り開いた先人の知恵や努力などについて解説しました。お昼は、松籟公園でお弁当を食べ、その後松籟公園から萬松園あいうえおの杜を経由して古層湯へ。そして午後は、もち米を使った和菓子販売する、れん永昌堂・お菓子処しもつね・お菓子司横谷の山代温泉を代表する3軒の老舗和菓子店を巡りました。

我が家では子どもたちが幼い頃、この時期は、リュックをかついで水筒とおやつを持って、近くの水無山に登ったり、鶴仙溪を散策したり、栢野の大杉までサイクリングに出かけたりしました。そんな中で、子どもたちと一緒に春を探したり、田植えの様子を見学したり、山や川の自然の息吹を感じたりすることは、とても楽しく豊かな時間でした。親や教師など周りにいる大人と、このように関わりながらいろんな体験を積んでいくことによって、子どもたちの好奇心を高めたり、自然や社会への探求心を喚起したり、豊かな感性や情操を育んだりしていくことができればよいなあとと思います。お金をかけて遠くに出かけなくても、子どもたちの「今」や「未来」を幸せにする方法はいろいろあります。今のうちに（今しかできません）、どうぞお子さんと、自然や社会と触れ合う素敵な時間をお過ごしください。

### <1年生 大堰宮公園・桔梗丘公園など>



<2年生 あいうえおの杜など>



<3年生 勅使法皇山>



<4年生 加賀温泉駅など>



<5年生 市之瀬用水・山代の老舗和菓子屋さんなど>

